

第3学年 英語科学習指導案

日 時 平成25年11月21日(木)
 学 級 大船渡市立末崎中学校3年B組
 男子10名 女子14名 計24名
 指導者 教諭 高橋昭英

1 単元名 PROGRAM 7 What Is the Most Important Thing to You?(開隆堂 SUNSHINE ENGLISH COURSE 3)

2 単元について

(1) 教材観

本単元では、途上国支援のために様々な取り組みを行っている山本敏晴さんの活動について学ぶ。「宇宙船地球号」、「お絵描きイベント」等、特色ある彼の活動を読み取りながら、本当の国際協力とは何か、自分達が出来ることが何であるかを、生徒達と共に考えながら、指導していきたい。

言語材料としては、関係代名詞の主格用法が新出文型となっている。既習の後置修飾用法(前置詞句、不定詞、現在分詞、過去分詞の後置修飾)を踏まえて、関係代名詞を用いた英文の構造を捉えさせていきたい。

そして、従来の指導の重点としてきた、書かれた内容を考えながら黙読したり、その内容が表現されるように音読することに加えて、山本さんの活動について感想を述べたり賛否やその理由を示したりなどすることができるよう、書かれた内容や考え方などをとらえることを目指して指導していきたい。

(2) 生徒観

ペアワークを多く取り入れながら、授業への積極的参加、良い授業の雰囲気作りに重点を置き、授業実践を行ってきた。その結果、間違いを許容できる授業の良い雰囲気が出来つつある。帯活動での語彙練習や、教科の課題等、与えられた課題にはしっかり取り組むことが出来る生徒達である。その一方で、挙手や発言は、最近固定化されてきており、併せて英語の学力格差が顕著である。下位生徒には、中学一年生時の基礎、基本からの積み重ねの不足から、英語への学習意欲が低下している生徒もおり、個別指導を充実させていかなければならないと感じている。

(3) 指導観

言語材料としては、関係代名詞の主格の用法が新出文型となっている。前単元で学習した現在分詞、過去分詞の後置修飾用法をイメージさせ、教科書、ワーク等を用いて、より多くの関係代名詞を用いた英文に親しませながら、新出文型の定着を図りたい。

教科書の内容理解については、ワークシートを用意する。特に今年度は、初見の英文を速読し概略を捉えさせながら、読み取る活動を行っている。そのために、新出語句等は帯学習での「インプットプリント」で語彙指導を継続して行う。そして、読み取った内容が伝わるように、適切なスラッシュ、弱強、イントネーションでの音読につなげていきたい。

3 単元の評価規準

コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解
・ペアで協力しあって、音読活動、対話活動等を行おうと努めている。	・適切なスラッシュ(語句のまとまり)を入れて、適切なイントネーション等で、本文を音読することができる。	①あらすじや大切な部分を読み取ることができる。 ②話の内容に感想を述べたり、賛否やその理由を示せるように読むことができる。	①関係代名詞の主格用法を用いた文の構造を理解している。 ②新出語句を正しく理解している。

※各観点の名称 ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度 イ 外国語表現の能力
 ウ 外国語理解の能力 エ 言語や文化についての知識・理解

4 指導と評価の計画(7時間)

時間	○ねらい・学習活動	単元の評価規準	評価方法
1	○本単元で身に付ける技能や理解する内容を知る。 ○主格の関係代名詞 who を用いた文の構造を理解する。 ・関係代名詞 who を用いた文の構造を知る。 ・who を用いた文を使えるように練習する。	エの①	後日 ペーパーテスト
2	○主格の関係代名詞 which を用いた文の構造を理解する。 ・関係代名詞 which を用いた文の構造を知る。 ・which を用いた文を使えるように練習する。	エの①	後日 ペーパーテスト
3	○主格の関係代名詞 that を用いた文の構造を理解する。 ・関係代名詞 that を用いた文の構造を知る。 ・that を用いた文を使えるように練習する。	エの①	後日 ペーパーテスト
4	○教科書本文(Section1)を読み、山本さんのボランティア活動の内容を理解する。 ・教科書本文を通して、活動の動機と具体的取り組みについて読み取る。 ・教科書本文の内容を理解して、音読する。	ウの① ア、イ	活動の観察
5	○教科書本文(Section2)を読み、二人の子供達の「絵」について、理解する。 ・教科書本文を通して、「絵」に込められているメッセージについて理解する。 ・教科書本文の内容を理解して、音読する。	ウの① ア、イ	活動の観察
6	○教科書本文(Section3)を読み、山本さんの活動の一つである「お絵描きイベント」について理解する。 ・教科書本文を通して、山本さんが「お絵描きイベント」で何をしようとしているのかを考えながら、読み取る。 ・教科書本文の内容を理解して、音読する。	ウの①、② ア、イ	活動の観察
7	<単元確認テスト>	エの①、②	ペーパーテスト

5 本時の指導

(1) 目標

- ① ペアで協力しあいながら、本時の学習活動に取り組むことができる。
【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】
- ② 本文の内容の概略をつかむことができる。
【外国語理解の能力】

(2) 評価規準

観点	A十分に満足できる	Bおおむね満足できる	C努力を要する生徒への支援
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	・自ら積極的に英語を用いて活動を行うことができる。 ・相手が分からないところを教え、協力して取り組むことができる。	・活動の内容を理解して、英語を用いて活動を行うことができる。	・机間指導をして、発音が分からない単語や、活動の内容を再度説明ながら、その活動に取り組ませる。
外国語理解の能力	・本文の内容を十分に理解して、内容の質問について、答えることができる。	・本文の内容を理解することができる。	・机間指導をして、個別にヒントを与えながら、理解できるように支援する。

(3) 展開

段階	学習内容	学習活動	指導上の留意点 ☆評価の観点
導入 10分	1 挨拶 ※<Today's Menu>の確認	1 英語で元気に挨拶をする。	・元気よく行う。(観察)
	2 帯活動 (単語 input プリント)	2 ペアを組んで、単語練習を行う。	・テンポよく行う。(観察・発表) <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">☆ペアで協力しあって、活動を行うことができたか。(観察・発表)</div>
展開 30分	3 学習課題の把握 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"><Today's Goal> 山本さんは何のために「お絵描きイベント」を行っているのか、考えてみよう。</div>	3 学習課題の確認をする。	
	4 本文の内容理解①	4 ワークシートでの読み取りを行う。 (1) 速読をして概要をとらえる。 (2) T or F, Q and A の設問に答える。 (3) ペアワーク ①読み取った内容の確認 ②設問の解答の意見交換 (4) 全体での解答	・ワークシートの進み具合次第では時間を取って取り組ませたい。 ・机間指導を行い、ペアワークの支援を行う。 ・正答率の低い問題については、解説を加えて、理解を図りたい。 ・解答の際に、関係代名詞を含む英文についての説明も加える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">☆本文の内容を読み取り、設問に答えることができたか。(観察・発表)</div>
	5 本文の音読練習	5 (1) 「予想」読み(個人) (2) スラッシュ読み(repeat) (3) 一文読み ① repeat ②ペア(交互に) (4) read and look up (5) 全文読み(個人)	・机間指導をしながら、ペア指導を行う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">☆適切な区切り、アクセント等を意識して音読に取り組むことができたか。(観察・発表)</div>
終末 10分	6 本文の内容理解② <Today's Goal>	6 教師の質問に日本語で答える。	・ペアで考える時間、意見交換する時間を取る。その後、全体で発表させる。
	7 次時の予告	7 次時の学習を理解する。	
	8 挨拶	8 英語で元気に挨拶をする。	